

廿日市市出身で、ドラフト1位指名で広島東洋カープに入団した中村奨成さん。これまでの道のりを追います。

## 生まれ育った大野

野球を始めたきっかけは、小学1年生のときに手にした大野友星（少年野球チーム）の団員募集のチラシでした。身体を動かすのが好きだったのと、チームには同じ学校の友達がたくさんいたので、すぐ野球に夢になりました。

中学校に進学すると大野シニアに入団し、高い技術を持ったライバルたちと一緒に練習に打ち込みました。練習場所の小田島公園は、仲間たちとの思い出の場所。「小中学生のころは、慣れ親しんだ環境の中で、大好きな野球をのびのびとやらせてもらいました」。

中学2年生のとき、運命の出会いが訪れます。広陵高校の中井先生（監督）が小田島公園に試合を見に来ました。中井先生から、野球の技術のことではなく人としての礼儀や生き方の話をしてもらい、そのときの中井先生の力強いまなざしや雰囲気心を動かさ

れました。「この人のもとで野球をしたら成長できる」。

## 人としての成長

広陵高校で学んだのは、野球の技術以外のことが大きかったと話します。「中井先生からは『男として、真つすぐに正直に生きる』とよく言われました。また『親を大事にしない人間は、野球が上手くならない』という言葉がとても胸に響きました。寮に入ったことで親の有り難みも分かりました。大事にしている言葉は、ありがとうと話します。中井先生の好きな言葉であり、チームとしても大事にしている言葉です。1年生の夏から背番号2を背負って試合に出ましたが、なかなか結果が出ず、苦しいときもありました。



手のボールに書かれているのは好きな言葉「ありがとう」

そんなとき、地元・大野の仲間たちに電話をかけました。「みんなが応援してるよ」「甲子園出たら、カッコいい姿を見せてくれよ」という励ましに「よし、やってやる!」と何度か力をもらいました。

そして、高校3年生の夏。全国高校野球選手権大会に出場し準優勝、個人としても大会新記録となる6本塁打を放ち、多くの人から注目されました。

## プロ野球の舞台へ

これから進んでいくプロ野球の世界への意気込みを聞きました。

「社会に出て、一人の大人として成功できるように中井先生に鍛えてもらったので、プロの舞台に対して精神面での不安はありません。それよりも技術に関しては、いつか壁にぶち当たると思います。そんなときは、大野の仲間たちに笑わせてもらって、元気をもらいたいと思います」。

最後に廿日市市の子どもたちへエールをもらいました。「自分は実際に夢が叶いました。が、夢というのは目指さないと叶わないものです。何か一つ小さな夢でも良いので、夢に向かって全力で取り組んでください」。



2次元コードを読み込むと中村奨成さんのインタビュー動画を見ることができます（2月1日（休）～）。ぜひご覧ください。

# はつかいら人

vol.26

廿日市市で輝く人を紹介します

なかむら しょうせい  
広陵高等学校野球部 中村 奨成 さん（18歳・大野東中学校出身）

## 編集後記

今月号は、成人式、消防出初式、カープの新人選手入寮といった、気持ちを新たにしている話題が多くありました。そんな中で取材させていたただいた中村奨成さん。プロ野球選手として歩んでいくこれからの決意、地元への思いなどを語るそのまなざしは、とても力強いものでした。これから中村選手が、多くの人に感動や勇気を与える選手になることを願っています。

西岡 秀治

成人を迎えられた皆さん、ご家族の皆さんおめでとうございます。懐かしい友人、恩師と再会し、当時の思い出が蘇った感慨深い一日となったのではないのでしょうか。学びたいことを学び、友人と過ごす楽しい毎日に、社会へ出たくなと思うことも多かった20歳の頃の私。社会の厳しさだけでなく、大人になることの楽しさを伝えられる大人になりたいものです。

瀬谷 里香

## 人のうごき

前月比

総人口	117,649人	(-3)
男	56,527人	(+21)
女	61,122人	(-24)
世帯	51,568世帯	(-3)

(平成30年1月1日現在、外国人を含む)

発行 廿日市市 〒738-8501 広島県廿日市市下平良一丁目11番1号

電話 0829-0001(代)・0829-1059

編集 分権政策部 経営政策課 広報統計グループ

ホームページアドレス <http://www.city.hatsukaichi.hiroshima.jp/>  
Facebook <http://www.facebook.com/hatsukaichicity>